

福岡大学学園通信

福岡大学
福岡市城南区七隈八丁目19-1
TEL (092) 871-6631
ホームページ URL
http://www.fukuoka-u.ac.jp/

- 主な記事紹介
- 2面 新入生へのメッセージ、入学式
 - 3面 卒業式、緑化推進
 - 4面・5面 大学評価アンケート
 - 6面 産学官連携への取り組み
 - 7面 エクステンションセンター募集案内
 - 8面 国際交流、父母懇談会案内
 - 9面 就職・進路支援センター案内
 - 10面 入学試験結果
 - 11面 キャンパスカレンダー、大学の動き
 - 12面 懸賞論文表彰、スポーツほか

入学式式辞

学長 山下 宏幸



新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

今春の福岡大学の志願者は、四万一千四百二十九人でした。その難関を突破して新しく福岡大学の学生となられた皆さんを、私たち一同、心から歓迎いたします。

また、ご家族の皆様には、重ねて心からお慶び申し上げます。

さらに、多数のご来賓をお迎えいたします。その中、卒業後五十年から四十六年の先輩方をお招きしています。

この度のご入学は、皆さん自身にとっても、また同時に、福岡大学にとっても大きな喜びであります。それは、福岡大学の歴史を、さらに将来へ向かって引き継いでいただく皆さんが、新たに加わったからであります。

さて、入学にあたり、「学園の留学生がいます。ある時、私の実験室に中」

建学の精神

思想堅実・穏健中正・質実剛健・積極進取

教育研究の理念

「人材教育」と「人間教育」の共存
 「学部教育」と「総合教育」の共存
 「地域性」と「国際性」の共存



入学式挨拶

学校法人福岡大学
理事長 川合 辰雄

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これまでの努力が実を結び、本日で入学式を迎えられ、感無量のものがあると思います。そしてこの日まで皆さんの

成長を支え、見守ってこられたご家族の皆様にも心からお慶びを申し上げます。

皆さんは、多くの志願者の中から厳しい選抜を経て入学された優秀かつ無限の可能性を秘めた方々であります。これからの皆さんの学業に対する真剣な取り組みと成長を、大いに期待するものであります。希望に満ちた学園生活のスタートにあたり、まずは明確な目標を掲げ、そして建学の精神の一つであります「積極進取」の気概を持って、勉学や課外活動に励むとともに、豊かな教養の涵養に努めていただきますようお願いいたします。

さて、二十一世紀を迎えた今日、社会や経済は複雑化し、科学技術が著しく発展を遂げ、地球の環境問題が生じ、さまざまな新しい問題が生じております。このため、それらの解決に向けて、世界的規模で考え適切な対処できる新たな知識や専門能力を持った人材が求められているところであります。このような中にあり、本学は優れた教授陣と充実した施設、設備を備え、教育・研究・医療の各分野において幅広い活動を展開しております。この優れた本学の機能を十分に活用し、充実した学園生活を送り、豊かな二

つ非常に貴重な時です。大切なことは、「これから」であり、そのために今、「何をなすべきか」「どのように自分を磨くか」について、真剣に考えて欲しいと思います。本日は本学におめでとうございました。

平成十四年四月三日

福岡大学は、今年、創立六十八周年を迎えます。その間、十八万七千九人の卒業生を世に送り出し、九学部二十九学科、大学院九研究科三十一専攻を擁する総合大学として発展してきました。

皆さんは、授業によって知識を得ても、自分自身の体験や具体的な調査・研究がなければ、結局は身に付きません。本学には、現実をよく観察したり、文字や映像によって追体験できるような施設や仕組みが用意されています。

例えば、図書館は約五百五十万冊の図書を備えています。また、情報処理センターは、先進のマルチメディア環境を整備し、情報技術の修得と活用ができるように整備されています。いずれも、夜十時まで開放しています。その他、海外留学や研修制度、大学独自の奨学金制度などもあり、このハードとソフトの両面で大学を有効に活用し、主体的に学生生活を送って欲しいと思います。

大学の四年間は非常に短く、

十一世紀を築き上げてきたかと思えます。

ところで、本学の創立以来六十八年にも及ぶ歴史と伝統は、約十八万人の優秀な卒業生一人ひとりのたゆまぬ努力によって築き上げられたものであります。皆さんには、そのような本学の歴史と伝統を受け継ぎ、さらに高めていただきたいと思えます。

最後に、本学での学園生活が、皆さんの豊かな社会生活のいしすえとなることを願います。私のお祝いの挨拶といたします。

平成十四年四月三日

昭和三十七年宮崎大学工学部機械工学科卒業、四十二年福岡大学助手となり、四十四年講師、四十九年助教、五十七年教授、昭和六十二年十二月から平成五年十一月まで学生部長(二期)、平成五年十二月から工学部長(二期)を務め、平成十一年十二月学生長に就任。学校法人福岡大学専務理事、同評議員。日本機械学会会員、日本伝熱学会会員、エネルギー・資源学会会員、日本熱物性学会会員、空気調和衛生工学会会員、主な社会活動に、福岡県産業・科学技術振興財団理事、九州・山口地域企業育成基金評議員、アジア太平洋センター理事、福岡県青少年育成財団理事、専門は熱工学。著書に「工業熱力学」(コロナ社)がある。工学博士。六十三歳。

山下 宏幸 (やました ひろゆき)

大学基準協会の実施視察を終えて

副学長 河井田 研朗



本学は既報のとおり、平成十二年二月、自己点検・評価規程に基づいて第二回目の自己点検・評価報告書の作成を決定した。それ以来約一年間、関係各部門の努力の結果、この作業は完成し、昨年二月「二十一世紀を拓く福岡大学2000年度自己点検・評価報告書」と題して発行された。この報告書を本学はさらに文部科学省の要望する第三者機関による相互評価に委ねることを決定し、この報告書に個人研究調査を加えて、十三年五月財団法人大学基準協会に相互評価を申請した。これを受けて基準協会側は調査とデータを検討したうえで、年末にさまざまな調査事項に対する質問状を送付してきた。本学はそれらの質問事項に対する回答を準備したうえで、本年一月十五日に協会側の実地視察を迎えることになった。視察員は広島大学の生和教授を主査に、ICUの石渡教授、名大の稲垣教授の二人と事務局の二人、計五人であった。本学側は学長をはじめ、副学長、経済・医学の各部長、教務部長、大学院学務委員長、事務関係者を加えて十六人であった。当日は午前十時から午後三時までの間、質疑応答と施設の確認、総括

の作業は完成し、昨年二月「二十一世紀を拓く福岡大学2000年度自己点検・評価報告書」と題して発行された。この報告書を本学はさらに文部科学省の要望する第三者機関による相互評価に委ねることを決定し、この報告書に個人研究調査を加えて、十三年五月財団法人大学基準協会に相互評価を申請した。これを受けて基準協会側は調査とデータを検討したうえで、年末にさまざまな調査事項に対する質問状を送付してきた。本学はそれらの質問事項に対する回答を準備したうえで、本年一月十五日に協会側の実地視察を迎えることになった。視察員は広島大学の生和教授を主査に、ICUの石渡教授、名大の稲垣教授の二人と事務局の二人、計五人であった。本学側は学長をはじめ、副学長、経済・医学の各部長、教務部長、大学院学務委員長、事務関係者を加えて十六人であった。当日は午前十時から午後三時までの間、質疑応答と施設の確認、総括

私たちは自由な時代を生きています。人に迷惑をかけるまいかと、何をしてもよいという自由が与えられています。法律にふれなければ、さまざまなことができる自由が与えられているように思えます。まさに自由に溢れている時代でありましょう。しかし、本学に自由な時代なのでしようか。本学に自由があるのでしようか。自由があるとは、もっと希望に溢れ、生き生きとともなうのではないのでしょうか。しかし、大人はいうにおよばず、子供たちの瞳の中にも希望の光を見出すことは難しいように思えます。確かにこれまでのさまざまな制約を受けていた時代に比べて自由になりました。伝統からの制約を受けず行動できるようにもなりました。経済的にも豊かになり、これまでも受けていた経済的制約からは自由になりました。科学技術の発達で、物理的制約からも自由になったのは確かです。しかし、われわれは本当に自由なのでしようか。自由が当然のこととされ、この問い、「本当の自由」を問うことは、ないが現代社会です。いいかえると、「本当の自由」を問う自由を奪われている時代とも言えるのでしよう。伝統から自由になること、経済的に自由になること、科学技術の発達により物理的制約から自由になることだけが、より自由になることだと考えてはいないのでしょうか。そのような自由だけが「本当の自由」だと思われないでほしいでしょうか。「本当の自由」を問うとは、「本当に生きる」とは、という問いと密接に関連します。という問いは、現代は「本当に生きる」ということを考える自由を奪われている時代でもあります。自由に溢れた時代でありながら、本当に自由に生きることを目指す自由を喪失した時代かもしれません。

(K・S)



新入生の皆さん、入学式に毎年、卒業生の皆さんを招待

平成13年度卒業式 4,734人が実社会へ

平成十三年卒業式は、三月二十五日午前十時から学部卒業生をはじめ父母、来賓、本学関係者など約七千人が出席し、第二記念会堂で挙...

式典序曲演奏、開式、国歌斉唱のあと、山下学長が各学部の総代十人に学士の学位記を授与し、式辞で「これから様々な問題を自分自身で解決し、生き抜いていかなければならないが、福岡大学卒業生としての誇りと若き情熱を...

組んでいた。幸いなことに皆さんには、建学の精神のもとで培った積極進取の気概と人思いの真心がある。自らの理想と信念、本学卒業生としての誇り、そして社会人としての自覚と責任を...



山下学長が学部総代に学位記を授与

平成13年度 学部卒業状況表。学 部、学 科、卒業者数、学部 総代。人文、法、経済、商、理、工、医、薬、スポーツ科、合計。4,734人。

*学部留学生13人を含む。

大学院学位記授与式を挙

259人が修士の学位、44人が博士の学位を取得

大学院学位記授与式が、三月二十二日午前十時から有朋会館大ホールで行われた。

山下学長が修士課程および博士課程の各研究科総代十五人に学位記を授与し、式辞を述べた。

続いて、教職員代表の野入人文科学研究科長が祝辞を述べたあと、修了生総代のシャイウンさん(法学研究科民刑事法専攻博士課程後期)が謝辞を述べ、十時四十五分に式は終了した。



- 薬学研究科「二人」 【博士課程】 医学研究科「二十五人」 また、博士の学位取得者は課程修了者三十人、論文提出者十四人の計四十四人で、次のとおり。 【博士(文学)】 課程博士 安 照貞 【博士(法学)】 課程博士 夏 芸 陳 綱 【博士(工学)】 課程博士 楊 建波 【博士(医学)】 課程博士 陳 建波 【博士(医学)】 課程博士 西尾 英典 花田 弘文 山川 晃司 谷 博樹 吉野慎一郎 梅田 尚樹 野田 尚幸 高橋 尚晴 横山 裕 浅山 和剛 古賀 敬 松永 和剛

修士課程・博士課程前期修了状況

研究科、専攻、修了者数。人文科学、法学、経済学、商学、理学、工学、薬学、体育学。合計 259人。

外国人留学生15人を含む。

緑化推進にご協力 ありがとうございます。本学では、緑の豊かさに歴史と風格が感じられるようなキャンパス作りを目指し、二〇〇一年を植樹推進元年と位置付け、昨年引き続き今年も緑化推進キャンペーンを行いました。



記念植樹に訪れた卒業生の皆さん(3月2日土曜日、1号館前にて)

青木高等学校長が式辞で、中学校新入生の皆さんは、授業に真剣に取り組む、真の友達をつくり、規律ある行動を身に付け、豊かな心の持ち主になつてほしいと述べた。

卒業式 平成十三年年度の附属大濠高等学校(第四十九回)卒業式は三月一日午前十時から、また、附属大濠中学校(第四回)修了式は三月六日午後二時から、卒業生をはじめ保護者、来賓、本学関係者などが出席した。

附属大濠高等学校と附属大濠中学校合同の入学式は、四月九日午前十時から、高等学校新入生七百七十七人および中学校新入生百十一人をはじめ父母、来賓、本学関係者など約二千人が出席し、大濠高等学校第一体育館で挙...

入学式 平成十四年度附属看護専門学校の入学式(第二十八回)は、四月五日午前十時から、新入生四十一人を始め父母、本学関係者など約二百人が出席し、有朋会館大ホールで行われた。

附属大濠高等学校・中学校 入学式 高校 777人、中学校 111人が入学 高校 639人が卒業、中学校 83人が修了

附属看護専門学校 入学式 41人が入学、35人が卒業

大学評価アンケート ~授業編~

福岡大学FD推進委員会

この大学評価アンケート(授業編)は、本学の授業に関して全体的な傾向を把握し、今後の授業改善に役立てるために実施するものです。記入上の注意に従って回答してください。なお、この結果については、学園通信その他を通じて公表する予定です。



- 1. Q1~Q3には該当する番号を、Q4~Q16には数字または記号を直接記入してください。
- 2. このアンケートは、個別の授業評価ではなく分野別に一般的にどうであったかを考えて回答してください。
- 3. 文字が判読できないとせっかくの回答が無効になります。丁寧に記入してください。

提出について

アンケート用紙は、A棟事務室、学生課、各学部事務室にある回収ボックスに投函してください。

提出期限

平成13年9月27日(木)まで

あなた自身について、教えてください。

Q1 所属学部・学科

- ①LC ②LH ③LJ ④LE ⑤LG ⑥LF ⑦LA ⑧JJ ⑨JB ⑩EE
- ⑪EI ⑫CC ⑬CB ⑭CF ⑮BB ⑯SM ⑰SP ⑱SC ⑲SE ⑳TM
- ㉑TE ㉒TL ㉓TK ㉔TC ㉕TA ㉖MM ㉗PP ㉘PC ㉙GS ㉚GH
- ㉛GG

Q2 学年 ①01台 ②00台 ③99台 ④98台 ⑤97台以前

Q3 性別 ①男性 ②女性

記入欄



平成13年度前期の授業および成績評価について、教えてください。

総合教養科目、保健体育科目、外国語科目および専門教育科目等について、それぞれ授業への出席、授業の進め方、成績評価について質問します。各設問において、一般的にどうであったかを考えの上で、あなたの評価を右記の5点法で記入してください。(履修していない場合は、×を記入してください。)
その他授業に関して気づいたことや感想があれば、裏面の自由記述欄に書いてください。

- 5...強くそう思う(非常に良い)
- 4...ややそう思う(良い)
- 3...どちらとも言えない(普通)
- 2...あまりそう思わない(あまり良くない)
- 1...全くそう思わない(良くない)
- X...履修していない

記入欄

A総合教養科目	B保健体育科目(実技を除く)	C外国語科目	D専門教育科目等

A総合教養科目	B保健体育科目(実技を除く)	C外国語科目	D専門教育科目等

A総合教養科目	B保健体育科目(実技を除く)	C外国語科目	D専門教育科目等

★ 授業への出席について

Q4 履修した授業科目へのあなたの出席はどうでしたか。

★ 授業の進め方について

- Q5 シラバスに沿って授業が行われましたか。
- Q6 シラバスに記載された目的は授業の中で明確でしたか。
- Q7 授業に興味がもてましたか。
- Q8 教師の話し方は明瞭で聞き取りやすかったですか。
- Q9 黒板・OHP等への書き方や文字は見やすかったですか。
- Q10 教師は授業において重要なところを強調してくれましたか。
- Q11 教師の授業に対する熱意を感じましたか。
- Q12 教師は授業の中で、学生の参加(質問・発言等)を促しましたか。
- Q13 教師は学習をする雰囲気を保つように努力しましたか。

★ 成績評価について

- Q14 成績評価基準が公表され適切でしたか。
- Q15 成績評価が公正でしたか。
- Q16 成績評価の理由を聞くことができますか。

裏面へ→

詳報

大学評価アンケート 授業編

大学における教育の質的向上や授業の改善などが求められる中で、本学では、昨年九月、全学部学生を対象に「大学評価アンケート(授業編)」を実施した。

このアンケートは、従来から実施されている個々の授業における授業評価アンケートとは異なるもので、総合教養科目、保健体育科目、外国語科目および専門教育科目等の科目群ごとに授業や成績評価について学生に尋ねる結果をもとに大きな傾向を把握し、今後の授業改善に役立てようとするものである。

F/D推進委員会委員長 河井田 研朗

実施方法および回収結果

昨年六月、本学の授業内容および方法の改善を全学的に実施するために、教務担当副学長、各学部長、教務部長などから構成するFD推進委員会が発足し、九月に全学部学生(医学部は第一学年のみ)を対象とした「大学評価アンケート(授業編)」が実施された。

その結果、回収されたアンケートの総数は一、二三五枚、回収率が六・三%であった。その内訳は学年別では、一年次(一九・二%)、二年次(二一・七%)、三年次(三三・九%)、四年次(三三・一%)、五年次以上(四・一%)であった。

アンケート用紙(上図参照)は、本人の所属学部・学科、学年、性別などの記入のほか、「授業への出席状況」「授業の進め方」「成績評価」など十三の設問に対し、四つの科目群(総合教養科目、保健体育科目、外国語科目、専門教育科目等)ごとの「五段階評価」を記入する裏面と「自由記述」を記入する裏面とで構成された。

このアンケート用紙は前期成績通知表とともに配付され、締切日までにA棟事務室、学生課、各学部事務室に設置された回収ボックスに学生が自ら投入された。

五%を超えた回収率であれば全体的傾向の把握は十分に可能であるという判断により、FD推進委員会では三人の分析委員を選出し、これらのアンケート結果をもとに、単純集計、クロス集計、自由記述を通して、多面的に分析を行った。分析結果については、左紙面のとおりである。



授業の根幹は、教員の「熱意」と学生の「興味」との結合にある

分析結果

文中、次のとおり略記
 「総合教養科目」…「教養」
 「保健体育科目」…「保健体育」
 「外国語科目」…「外国語」
 「専門教育科目等」…「専門」

授業への満足度

全体的な傾向は、学生はきちんと授業に出席し、教員はまじめに授業をこなしている。と結論づけられる。その中には、外国語・保健体育に好感的で、教養・専門にやや厳しい。

ほとんどの項目が五段階評価で平均(3.5)以上である。なかでもQ4「出席」は教養を除けば(4)を大きく超えている。また、今回の中心項目であるQ7「興味」とQ11「熱意」は、全ての科目群で平均値が高い。項目間の比較では、Q4「出席」は高いが、逆にQ16「評価理由」とQ9「書き方」は低い。とりわけ、Q9「書き方」とQ12「参加」は、「良い(4)」以上が保健体育を除き四〇%に満たない。

求められる授業スタイルの向上

科目群の比較からは、図1から図4で明らかのように、外国語・保健体育と教養・専門の二つのタイプに大別できる。前者の方が、全項目でよりよい結果を示した。この点は、時間数、教員数、科目数、クラスサイズなどの量的な面や教育内容の多様性・複雑さなどの質的な面での違いが影響したと考えられる。

学年間の比較からは、学年が上がるごとにやや厳しい評価になっている。一般的には、上位学年ほど平均値が高いことが望ましいことから、教育内容の高度化と学生の要求度がうまくマッチしていないという危惧もある。

より高めたい授業への興味・関心

Q4「出席」は、四つの科目群の全項目で平均値が高い。一方、過半数の学生がQ5「シラバス」、Q7「興味」、Q12「参加」、Q13「雰囲気」に「強く思う(非常に良い)」と「やや思う(良い)」を合わせて、Q10「重要点」、Q11「熱意」に「良い(4)」以上、そしてQ9「書き方」とQ12「参加」を除けば、全ての項目で八〇%以上が普通以上と、ほぼ満足な肯定的評価をしている。

学年別比較ではQ9「目的」、Q12「参加」、Q13「雰囲気」などで、学年が上がるに従ってやや厳しい結果となっている。ここに、学生が求めるものと教員が与えているものとのギャップの拡がりが見られる。

評価基準を具体的に

全項目のなかで、Q16「評価理由」が最も低く、平均値が(3)前後である。Q15「評価の公正」は、教養では(2.7)程度と低い。かなりの学生が、成績評価に不信・不満が高いことを示している。自由記述でも、答案の返却、評価の格差、不明瞭さ、基準の明確化、難易度、公平さ、問題の妥当性などについて具体的に不満を述べている。

端的にいえば、学生は成績に強い関心があるが、教員はそのことに応え切れていないと解される。そうすると、シラバスの「評価の方法」には、出来る限り詳細に成績基準、出席、レポートなどの処理を記述しておくよと思われ

問われる「分かる授業」

自由記述を整理すると、各科目群・学部別でかなりの差異がある。共通点は、分かりやすく、役に立つ授業を期待しつつ、教員に豊かな人間性を求めていることである。

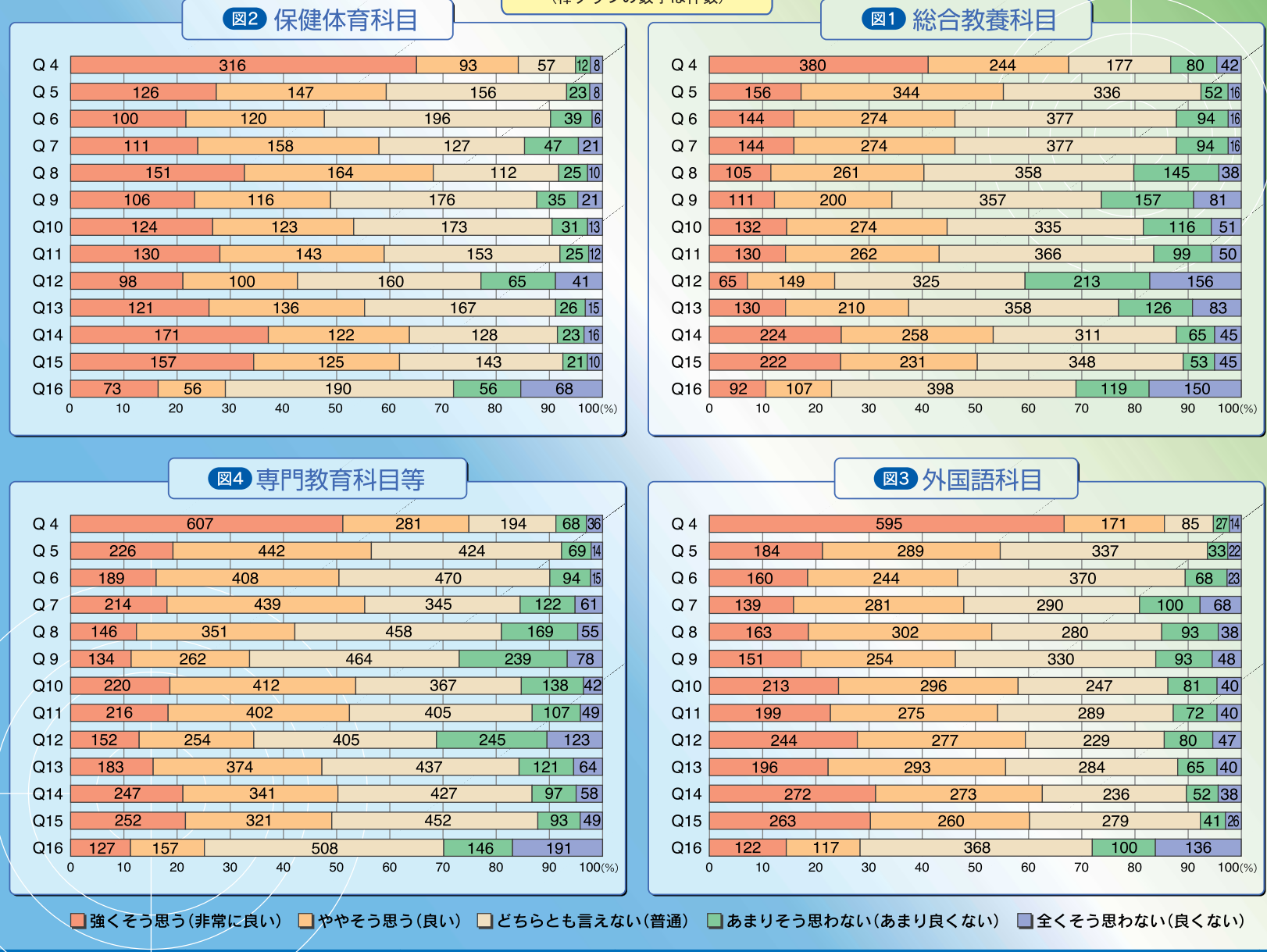
学部別で見ると、理学部、工学部、薬学部の理系学部で肯定的な記述が少ない。スボ

理学部は否定的と肯定的の両方、医学部は否定的な記述が少ないのが特色である。

教養では、私語、クラスサイズ、出席評価、授業内容などへの不満が多い。保健体育では、水泳の意義や大学での体育に対する疑問がある反面、実技への有用性の指摘も多い。外国語は、テキストへの不満、では、内容の高度さ、教員の熱意や人間性などに不満を持っている。教養での音楽関係

全体集計結果

(棒グラフの数字は件数)



今後の対応

さらなる教育力の向上を

クロスカリキュラーの結果をみると、Q7「興味」とQ11「熱意」とが、全ての項目で強い正の相関を示した。学生の授業への「興味」は、特にQ8「話し方」とQ11「熱意」との相関が高い。また、教員の「熱意」は、当然のことながらQ7「興味」、Q10「重要点」、Q13「雰囲気」との相関が高い。

データ全体をみると、最大のポイントは、上位学年になるほど、また専門性が高まるほど教員の達成度水準と学生の理解度水準との乖離がみられることである。このギャップをどう埋めていくかが、今後の授業改善の最大の課題である。

いままでもなく、大学教育の基本は授業である。今後とも、よりよい授業にむけて、現状をより厳しく問い直しながら、教員、学生の皆さんと一体となって取り組んでいきたい。具体的には、以下のような方策によって、できるだけ授業への不満を解消し、さらには出席率をあげていきたいと思っている。

(一) 教育方法、特に授業スタイルの改善、向上をさらに図っていくこと。学生の多様なニーズにこたえるため、きめ細かな指導が可能な状況を作っていく。

(二) 学生側に向けた授業を展開していくこと。授業科目について詳細な計画「シラバス」を提供するとともに、予習・復習へのアドバイスを十分に示す。

(三) 教育内容(カリキュラム)を再検討すること。学年が上がるにつれて、授業への満足度が高まるように、最も効果的なカリキュラム編成を工夫する。

(四) 学習効果をより高めていく工夫をすること。オフィス・アワーの利用・活用の推進、双方向の教育実践などを

積極的に進めていく。(五) 教員研修の充実をさらに図っていくこと。個々の教員レベルでなく、非常勤講師を含めて全学的な授業の研究・研修を推進する。

(六) 学習環境の条件整備を行うこと。特に少人数クラス、実験・実習、図書・資料などに施設・設備の充実をさらに図っていく。

この場合、本学の理念・目標に沿った対応を図り、全体の教育システムの中で、その在り方をさらに追求していきたい。そのためには、教養・保健体育・外国語・専門の有機的な連携、正課外教育(エクステンション)の拡充、学部教育と高等学校教育との接続、厳格な成績評価の実施、履修科目登録等の指導などを総合的に視野に入れていくつもりである。

これからは、本学の授業改善に対して、教員、学生の皆さんをはじめ、全ての本学関係者のより一層のご理解とご協力をお願いする次第である。最後に、今回の調査にご協力を頂いた学生の皆さんに感謝を申し上げます。

福岡大学の産学官連携への取り組み

研究推進部長 百武 秀

「はじめに」
 「産学官連携」とは、最近、福岡大学においても「産学官連携」の意義は重視され、今年山下学長の年頭の辞でも、二〇〇二年の抱負の一つとして「産学官連携の促進」が取り上げられている（福岡大学学園通信「六六号」）。

これからの本学における教育・研究の活性化と発展のために、「産学官連携」は基本的な重要なポリシーと考えられる。

二十一世紀の日本は、「知」の創造とその活用を図ること

制定された「科学技術基本計画」に始まり、平成十三年に制定された「第二期科学技術基本計画」によってさらに強化されている。これら二つの「基本計画」の間に、大学と産業界との連携、協力を推進するための方策がいくつも具体化されてきた。例えば「学内における産学協同推進体制の整備」、特に私立大学に対しては、産業界との共同研究を推進する「学術フロントティア推進事業」などがある。

このような社会的背景のもとに、福岡大学でも数年前から「産学官連携」に取り組んでいる。その現状について紹介しよう。

一、福岡大学における「産学官連携」の現状

(一)「研究推進部」の設立

本学には昭和三十一年四月に設置された「福岡大学総合研究所」があつて、福岡大学に在籍する教員はすべてこの「総合研究所」の研究員として、次のような研究活動ができた。研究成果の公表・公開、すなわち論文、紀要等による発表、学会、学術講演会、研究会、学術研究所主催として研究会の開催、共同研究を本旨とする各種研究チームへの参加等である。

多くの大学教員等にとって、学外の研究者、大学等の研究機関、各種の団体、企業との共同研究は不可欠である。また、大学教員等の個人に対して、企業も含めた各種団体からの試験・研究の委託がある。それは専門分野の広範囲にわたっている。これら学外との共同研究や学外からの研究委託は、これまでは「総合研究所」で受け付け、本学所定の「規定」に従って処理されてきた。

前述の「学術フロントティア推進事業」をはじめ、「ハイテクリサーチセンター整備事業」等は私立大学における学術研究基盤を強化し、我が国の学術研究・科学技術の発展に資する目的で、文部科学省が行うもので、本学から、こ

れまでに四件が採択されている。地域産学官関係者による対話の場として、福岡市、福岡商工会議所等に福岡地区の大学を加えた「福岡産学ジョイントブラザー」が平成十年に発足し、本学も当初からこれに参加している。

このような学外における「産学官連携」の流れを積極的に受け入れるには、既設の「総合研究所」では十分に対応出来ない面がでてきた。このため約一年をかけて審議・検討のうえ、「総合研究所」は「研究推進部」に改組された。そこでは、従来の主として個人の研究活動を支援する部門に加えて、学外からの委託研究や研究資金を受け入れる部門および、学外との共同研究、産学官連携による研究交流等を取り扱う部門が充実、強化された。

(二)研究推進部における「産学官連携」活動

文部科学省で採択された「産学官連携」に関連した研究プロジェクトおよび学外機関（大学、試験研究機関および企業）との共同研究のプロジェクトがあり、それぞれが活発に研究活動を行っている。これらの各プロジェクトはすべて研究推進部の「付置研究所」として位置づけられる。以下に各プロジェクトを簡単に紹介する。

○資源循環・環境制御システム研究所「学術フロントティア推進事業」として平成九年に発足。メンバーは五十七人。

○分子腫瘍学センター「ハイテクリサーチセンター整備事業」として平成九年に発足。メンバーは三十七人。

○都市空間情報行動研究所「学術フロントティア推進事業」として平成十二年に発足。メンバーは十七人。

○高機能物質研究所「ハイテクリサーチセンター整備事業」として平成十二年に発足。メンバーは三十七人。

○環境科学技術研究所、学外機関との共同研究として平成

十二年に発足。メンバーは二十一人。

福岡産学ジョイントブラザー 前述したように、本学もメンバーである。この「ジョイントブラザー」と九州経済産業局、九州産業技術センターなどの合同セミナーが毎年開催されている。平成十三年度のセミナーでも本学から研究発表と多数の参加者があった。

学外との研究交流

平成十三年度の「産学官連携」に関係したものを以下に記す。金額は研究経費として外部から受け入れられた資金の総額である。

○受託研究 七十件、約二億四千万円
 ○研究助成寄付金 四百四十六件、約三億三千五百万円
 ○学外との共同研究 七件、二千万円
 ○寄付研究 二件、千三百万円

新しい時代の「産学官連携」は、「知」の源泉としての大学がその教育・研究を活性化させ、社会の信頼を得つつ発展するための有益な手段である。さらに、「産学官連携」は、公的な教育・研究機関としての大学が、その責務である教育と研究の成果を社会に還元するための一形態である。本学においても「産学官連携」のより一層の促進が望まれる。一方、大学の本来の使命は「教育・研究」にある。したがって、今後大学を核とする総合的な「産学官連携」のシステムを構築するに際しては学生への質の高い教育が確保されるよう十分に考慮すべきである。さらに、基礎研究も大学の重要な使命である。これらの観点から本学における「産学官連携」の現状を見ると、問題点が少なからず存在する。今後、「産学官連携」をさらに進めるために、上述の問題点の改善、特に教職員ならびに本学関係者諸氏に対して「産学官連携」の重要性の意識を高める方策を展開して行きたい。

福岡大学環境科学技術研究所がサテライトビジネスラボを設置

環境科学技術研究所長 中野 勝之

本学環境科学技術研究所は一月末に、福岡市東区松島にある(株)サンテック(山口昇社長)内に酸化チタン(チタニア)の製造を行う実証研究施設(サテライトビジネスラボ)を設置しました。この施設は同社が約一億円をかけて準備したもので、サンテックの研究所も兼ねており、企業内の施設に大学の研究室が同居する新しい形の産学連携事業といえます。建物は二階建てで、一階でチタニア製品を生産し、二階で講義(四〇人収容)を行ないます。平成十二年一月に設立した産学官関係者による「チタニア応用研究会」のチタニア技術開発の研究成果の一つでもあり、当面は、パウダーや水溶液、ビ

ンクリート壁や紙、ガラスなどに汚れ(有機物や油分など)が付きにくいという特性をもっており、すでに複数の建築施工会社で利用されており、今後は、大量生産できる装置の開発や改良、卒業生の派遣などで普及を後押しする計画です。



工学研究科資源循環・環境工学専攻の発足

記念講演会と進学説明会を開催

工学研究科長 大和 竹史

平成十四年四月開設の工学研究科資源循環・環境工学専攻の発足記念講演会(司会・福岡山喜郎教授)および進学説明会が、去る一月十九日に本学十一号館一一番教室にて開催された。他大学の学生および社会人を含めた多数者が参加、以下の記念講演を熱心に聴講した。

一、福岡大学の大学院整備計画と資源循環・環境工学専攻(百武 秀研究推進部長)

二、工学研究科の整備計画と資源循環・環境工学専攻の設置(大和竹史工学研究科長)

三、新しい大学院教育の試み(市川 新教授)

四、環境化学制御専攻部門の教育と研究方針(中野勝之教授)

五、循環型社会が求める環境プロデューサー 廃棄物コンサルタントの経験から(樋口 太郎教授)

六、大学院研究の成果を国際交流に役立たせるための英語教育(グッドイヤー中村学園大学講師)

本専攻の入学定員は一〇人(収容定員二〇人)、教員の構成は専任九人、兼任教授七人および非常勤講師六人である。研究の場は七隈キャンパス、資源循環・環境制御システム研究所(若松区エコタウン)および学術研究都市の産学連携センター内の三カ所となる。なお、講演後の進学説明会では、より詳細な事項について担当教員に質問がなされ閉会となった。

「福岡大学高機能物質研究所研究成果報告会」を終えて

高機能物質研究所長 脇田 久伸

福岡大学高機能物質研究所における初めての研究成果報告会は、二十一世紀の高機能物質の創製をめざして、なる主題のもと、平成十四年一月二十四日(木)本学文系センター棟で学内外から百三十七人の参加者を得て盛大に開催された。報告会には河井田副学長の開会の挨拶、総勢二十六人の研究員による五分間の口頭発表

と併し内容でのポスター講演、小野薬品工業㈱代表取締役社長・松本公一氏による招待講演、三つのプロジェクトの代表講演、そして本報告会の最後の企画として各プロジェクトリーダー(薬学部・藤原道弘教授、理学部・西田昭彦教授と私)と工学部・三島健司助教授をパネリストにして上記テーマをテーマにパネルディスカッションを行った。ポスター講演は討論を交わった。報告会を終えたのは研究推進部の多大のご助力による。心から感謝する。

福岡大学高機能物質研究所

二月二十二日、総括のための国際シンポジウムを開催した。専門委員会、メキシコ国立自治大学、メキシコシナロア大学、エクアドルルグアヤカール大学、タイ王国ヒドン大学から総計九人の外国人研究分担者を招聘し、会場文系センター国際会議室の円卓テーブルを囲んで、朝九時から夕方五時三十分まで、熱のこもった講演、討論が展開された。一般講演は本プロジェクトで研究されてきた顎口虫症、シャーガス病、細菌感染症、特に薬剤耐性黄色ブドウ球菌と腸管下痢症、ラテンアメリカの伝承薬用植物の成分分析と抗炎症効果、エクアドルの感染糸虫などのほか、メキシコ日系人社会における医療人類学など文科系の内容を含む二十一題について研究成果の発表があった。

一方、特別講演としてラテンアメリカで長年にわたって海外学術調査やJICAによる医療援助活動を実施してこられた多田功九州大学名誉教授に自身ですめられた仕事の意義とその評価についてお話しいただいた。また、最近ラテンアメリカで顎口虫症が多発しているため、第二次世界大戦直後に日本で流行した顎口虫症について、奈良県富麻病院の菊池正院長に当時の貴重な経験について講演いただいた。



ラテンアメリカの熱帯感染症に関する国際シンポジウムを開催

ラテンアメリカの熱帯感染症チーム 代表 医学部助教授 赤羽 啓榮



福岡大学総合科学研究部 国際シンポジウムを開催した。専門委員会、メキシコ国立自治大学、メキシコシナロア大学、エクアドルルグアヤカール大学、タイ王国ヒドン大学から総計九人の外国人研究分担者を招聘し、会場文系センター国際会議室の円卓テーブルを囲んで、朝九時から夕方五時三十分まで、熱のこもった講演、討論が展開された。一般講演は本プロジェクトで研究されてきた顎口虫症、シャーガス病、細菌感染症、特に薬剤耐性黄色ブドウ球菌と腸管下痢症、ラテンアメリカの伝承薬用植物の成分分析と抗炎症効果、エクアドルの感染糸虫などのほか、メキシコ日系人社会における医療人類学など文科系の内容を含む二十一題について研究成果の発表があった。

一方、特別講演としてラテンアメリカで長年にわたって海外学術調査やJICAによる医療援助活動を実施してこられた多田功九州大学名誉教授に自身ですめられた仕事の意義とその評価についてお話しいただいた。また、最近ラテンアメリカで顎口虫症が多発しているため、第二次世界大戦直後に日本で流行した顎口虫症について、奈良県富麻病院の菊池正院長に当時の貴重な経験について講演いただいた。

「福岡大学高機能物質研究所研究成果報告会」を終えて

高機能物質研究所長 脇田 久伸



福岡大学高機能物質研究所における初めての研究成果報告会は、二十一世紀の高機能物質の創製をめざして、なる主題のもと、平成十四年一月二十四日(木)本学文系センター棟で学内外から百三十七人の参加者を得て盛大に開催された。報告会には河井田副学長の開会の挨拶、総勢二十六人の研究員による五分間の口頭発表

と併し内容でのポスター講演、小野薬品工業㈱代表取締役社長・松本公一氏による招待講演、三つのプロジェクトの代表講演、そして本報告会の最後の企画として各プロジェクトリーダー(薬学部・藤原道弘教授、理学部・西田昭彦教授と私)と工学部・三島健司助教授をパネリストにして上記テーマをテーマにパネルディスカッションを行った。ポスター講演は討論を交わった。報告会を終えたのは研究推進部の多大のご助力による。心から感謝する。

平成14年度 正課外講座(開講予定)の案内

Table with columns: 講座名, 定員(人), 開講期間, 開講曜日, カウンタースタッフ, コマ数, 受講料(円) (In-student, Graduate/Instructor, General).

*募集期間、申込方法等詳細については、エクステンションセンター(内線4621・4622)にお問い合わせください。
*ガイダンスはA401教室で行います。ただし、4月16日(火)の国家公務員 種講座は832教室、その他の公務員講座は831教室。

正課外講座案内



法学部法律学科 4年 尾村 昌美

この四月、開設二年目を迎えたエクステンションセンターは、資格取得や各種専門職試験対策の正課外講座を開講することにより、本学在学生の実践的な能力開発を支援して

私は、「公務員講座」を受講し、公務員採用試験合格に向けて頑張っています。膨大な範囲を勉強してみたい、改めて受講してみたいと思つています。大学内で受講できる講座は、とても親切で、また講義の空き時間には講義ビデオを観ることもでき、効率よく勉強することができました。公務員を目指す方には、受講をお勧めします。資格等



理学部応用物理学科 4年 森本由美子

私は、この就職難のなかで就職活動に生かせる資格を取るため、エクステンションセンター主催の「初級システムアドミニストレータ講座」を受講し、本試験に合格することができました。自分が就きたい職種に関する資格を取ることが就職活動に有利となつ

公開講座案内

天神でサテライト 市民向け講座を開講

主に社会人向けに開講しているのが公開講座です。平成十四年度の特徴としては、大きく次の二点が挙げられます。まず、語学講座を目的別に、実用コースと教養コースに分けたこと。実用コースは、ネイティブ・スピーカーによる会話中心に語学を学ぶコースであるのに対し、教養コースは語学の四技能「読む、書く、聴く、話す」をトータルに習得することを通じて、その国の文化、歴史、制度等を学ぶコースとなっています。なお、今回のコース編成はこれまでの受講者からの声を反

エクステンションセンター

平成14年度 募集案内

この四月、開設二年目を迎えたエクステンションセンターは、資格取得や各種専門職試験対策の正課外講座を開講することにより、本学在学生の実践的な能力開発を支援して

この四月、開設二年目を迎えたエクステンションセンターは、資格取得や各種専門職試験対策の正課外講座を開講することにより、本学在学生の実践的な能力開発を支援して

たほか、自信を持てるようになりましょう。まずはチャレンジすること。重要なのは、たとえ合格できなくても、その過程で身に付けた知識は決して無駄にはなりません。また、資格はその

人の心の持ちようで二倍、三倍の力を発揮してくれるものと思えます。いずれは就職もされる皆さん、学生のうちに自分のスキルを磨いて一杯頑張りましょう。

全二十四講座を受講しやすいように四つのパートに分けていますが、それぞれのパートが老化を科学し、老化が及ぼす体の変化を捉え、より良く安心して暮らすために、心を豊かに保つことがテーマとなっています。

サクセスフル・エイジング

高齢社会を楽しく! 健やかに! 生きる

日時 平成14年5月16日(木)~12月5日(木) 会場 エルガーラホール 毎週木曜日 13:00~15:00(8月は休講) 福岡市中央区天神1-4-2 TEL(092)711-5017

〈講義日程〉全24講座を4つのパートに分けて講義します。パート毎の受講も可能ですので、お気軽にご参加ください。 ※やむを得ない事情により、会場を変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

パート1 避けられない老化と向き合う方法

- 5月16日 サクセスフル・エイジングをめざして: 老化を理解する
講師:薬学部助教授 高野 行夫
5月23日 老化と記憶:アルツハイマー病
講師:薬学部教授 高橋 三津雄
5月30日 老化とそれを引き起こす物質
講師:理学部講師 李 相男
6月6日 寿命を科学する:生物学的考察
講師:理学部教授 横張 文男
6月13日 安心して年をとるために
自己防衛のための法知識
講師:法学部助教授 道山 治延

パート2 からだの変化と向き合う方法

- 6月20日 高齢者の体力と健康(講義1)
6月27日 高齢者の体力と健康(講義2)
7月4日 高齢者の体力と健康(実習)
講師:スポーツ科学部教授 田中 宏暁
7月11日 加齢と動脈硬化
講師:医学部教授 朔 啓二郎
7月18日 加齢と性機能:男性と女性の違い
講師:医学部助教授 辻 祐治
7月25日 薬の正しい知識と服用
講師:薬学部助教授 原 周司

パート3 より良く生きるための方法と生活支援システム

- 9月5日 安心して暮らすための社会保障システム: 年金・医療・介護保険システム(その1)
9月12日 安心して暮らすための社会保障システム: 年金・医療・介護保険システム(その2)
講師:法学部教授 片岡 直
9月19日 経済学の視点から社会保障制度を考える
~現在の社会保障制度は効率的か?~
(その1:社会保障制度と消費者主権 ~介護保険の分析を中心として~)
9月26日 経済学の視点から社会保障制度を考える
~現在の社会保障制度は効率的か?~
(その2:社会保障における「逆選択」と「モラルハザード」の問題)
~医療保険の分析を中心として~
講師:経済学部講師 白鞘 康嗣
10月3日 自己責任時代における老後の資産運用
講師:薬学部教授 永田 裕司
10月10日 テクノロジーが支える高齢者の生活
講師:工学部助教授 森山 茂章
10月17日 IT技術を使った在宅健康管理支援システム
講師:工学部助教授 鶴田 直之
10月24日 高齢社会に対応した都市構造の実現と交通施設の整備に向けて
講師:工学部教授 井上 信昭

パート4 知恵ある者として高齢社会を生きる

- 11月7日 ITコミュニケーションで世界が広がる
講師:商学部教授 永星 浩一
11月14日 東洋思想から見るこれからの社会
講師:人文学部教授 石田 和夫
11月21日 ゆずりは・自然に枯れること
講師:人文学部教授 山中 博仁
11月28日 アンチエイジング医学
一若返りのための形成外科、美容外科について
講師:福大病院形成外科助教授 大慈 弥 裕之
12月5日 高齢社会の抵抗勢力:
サクセスフル・エイジングに向けて
講師:人文学部教授 片多 順

- 募集対象者 社会人 各100名
■受講料 パート1~4(全24講座)受講の方:15,000円
※ただし、各パート毎の申込みも受け付けます。
(各パート毎の受講料 パート1:3,500円 パート2:4,200円)
(各パート毎の受講料 パート3:5,000円 パート4:3,500円)
■申込方法 電話で下記宛お申込みください。
ファックスでの受け付けはいたしません。
■申込先 福岡大学エクステンションセンター
〒814-0180 福岡市城南区七隈八丁目19番1号
受付専用電話(092)871-6728(お問い合わせには使用できません)
■問い合わせ先 TEL(092)871-6631 内線4621・4622
FAX(092)871-6726

新たに海外の4大学と交流協定締結



本学と連邦立サンタ・カタリナ大学、揚州大学、ガジャマダ大学および東義大学との間で、教育研究分野の相互交流を進める交流協定が締結された。交流内容は、学生・教育職員の交流、共同研究、研究活動に関する情報・学術出版物の交換など。なお、これらの大学との協定締結により、本学の交流協定校は九カ国十九大学となった。

連邦立サンタ・カタリナ大学(ブラジル) サンタ・カタリナ州フロリアノポリス市にあるブラジル屈指の大学。健康科学、体育、教育科学、社会・経済学、工学などの十一学群があり、特に機械工学、土木工学、電気工学、数学、ジャーナリ

ズムはブラジル文部科学省による学科別評価において、高い評価を受けている。一九六〇年創立。学生数約二万四千人、教職員数約四千九百人。協定発効日は平成十四年一月十一日。

揚州大学(中国) 江蘇省揚州市にある総合大学。人文学院、理学院、政治法律学院、外国語学院、体育学院、工学院、水利建築工學院、農學院、畜牧獣医学院、生物科学院、技術学院、医学院、商学院、旅行・料理学院、広陵学院の十四学院が設置されており、四十の学部を有する。一九〇二年創立。学生数約三万六千四百人、教職員数約四千二百人。協定発効日は平成十四年一月二十一日。

ガジャマダ大学(インドネシア) ジョクジャカルタ市にあるインドネシアで最も古い歴史をもつ国立大学。農学、



ニューカッスル大学

募集概要
平成十四年度および平成十五年度に本学から英国・米州・中国(台湾を含む)・韓国に派遣する交換留学生を、次のとおり募集します。在学生の皆さん、ふるって応募ください。

英国
ニューカッスル大学
リーズ大学
派遣時期 平成十五年八月から一年間

米州
カンザス大学
派遣時期 平成十五年八月から一年間
ジョージア工科大学
派遣時期 平成十五年八月から一年間

中国(台湾を含む)
華東師範大学
派遣時期 平成十五年二月から一年間
輔仁大学(台湾)
派遣時期 平成十五年二月から一年間

韓国
蔚山大学
派遣時期 平成十五年二月から一年間

(法学・経済学・商学・理学・工学研究科)も対象。ただし派遣期間は平成十五年八月から四月月間

グリフィス大学
派遣時期 平成十五年二月から一年間。*大学院生(理学研究科、工学研究科(電子工学専攻)も対象)

交換留学生募集

英国・米州・中国(台湾を含む)・韓国へ

父母懇談会

今年、「父母懇談会」は六月に下表の五会場で開催いたします。

対象地区の皆さまには、五月上旬に案内の予定で、学業成績、科目履修状況、学生生活全般、就職状況について個別相談を受け付けますので、多数ご出席ください。また、対象地区以外で出席を希望される方は、事前にその旨を学生課までご連絡ください。

実施概要は次のとおりです。説明会(大学の現況報告、学修・学生生活・就職等について) 個別相談 資料展示 ビデオ上映

医学部は別日程
医学部の「父母懇談会」は、八月十日(土)に宮崎市で開催いたします。



個別相談会

大学紹介ビデオを上映

平成14年度 父母懇談会日程

開催場所	月日(曜)
福岡(本学)会場 「本学A棟」	人文・経済・理・工学部 6月15日(土)
	法・商・商二・薬・スポーツ科(体育)学部 6月16日(日)
熊本会場 「熊本市流通情報館」1F展示場 熊本市流通団地1-24	6月8日(土)
鹿児島会場(沖縄を含む) 「鹿児島県市町村自治会館」4F大ホール 鹿児島市鴨池新町7-4	6月9日(日)
長崎会場 「長崎ブリックホール」国際会議場 長崎市茂里町2-38	6月29日(土)
佐賀会場 「佐嘉神社記念館」3F研修室 佐賀市松原2-10-43	6月30日(日)

交換留学で要求される語学力
英語圏 本学では英語圏への交換留学生選考資料のひとつとしてTOEFL受験を義務付けています。TOEFLはTest of English as a Foreign Language(外国語としての英語のテスト)の略称で、TOEFLあるいはトルと読みます。これは米国やカナダの大学や大学院に留学する際に、英語を母国語としない人に課される英語力判定試験です。交換留学はTOEFL、CBTで一七三以上(大学により異なる)の得点を要求しています。高得点を取るために

は語学力をつけ、イデオロムを増やし、読解力を伸ばすことも大切なことです。その一方で、出題形式に慣れ、出題傾向を把握することが必要不可欠です。

中国語圏 中国(華東師範大学)および台湾(輔仁大学)の学部留学を希望する者は、理系でHSK(漢語水平考試)3級以上、文系で6級以上が求められます。留学希望者は、春または秋のHSKを受験し、留学先が求める水準の証明書取得が必要です。また、語学教育専門のカレッジへの留学希望者は、本学で中国語またはHSK2級以上、中国語能力検定3級以上、中国語コミュニケーション能力検定試験400点程度以上の能力を有する者としていただきます。

朝鮮語圏 韓国(蔚山大学)および梨花女子大学への留学を希望する者は、朝鮮語または朝鮮語の履修が派遣選考に際しての基本的要件となります。ただし、ハングル検定4級または韓国語検

から一年間 梨花女子大学校
男子学生の出願も可。
派遣時期 平成十五年二月から一年間
なお、出願時期は本年六月(韓国、中国(台湾を含む)、豪州)および十一月(英国、米州)で選考は語学能力、学業成績、面接の総合判定で行われます。

定1級以上の検定合格者をも対象としています。しかし、これは語学教育コースの授業を中心に受講するための最低限の条件であるので、正式に学位の授受を受けて単位取得を望む人は、かなり高度な語学力が要求されます。

詳細については、本学国際センター(八号館二階)にお問い合わせください。なお、TOEFL講座の受講やITPテスト(TOEFL模範試験)については、エクスティンションセンター(A棟地下一階事務室)にお問い合わせください。

海外研修生募集
韓国・蔚山大学校へ派遣

平成十四年八月に本学から九日間、蔚山大学校(韓国)に派遣する海外研修生を、次のとおり募集します。

応募資格
一、三次次(医学部は一、四学年)の学部学生
二、募集人員 二十人
三、申込期間 四月二十六日まで
四、筆記試験(作文) 五月十一日
五、面接 筆記試験の成績上位者を対象に実施
六、合格発表 六月下旬

研修期間(予定)
八月九日から十七日まで
研修内容 蔚山大学校での韓国文化・生活等に関する授業を中心に蔚山大学校との交流を予定
宿泊先 学生寮およびホームステイ
経費の助成 海外研修生には、往復渡航費および授業料相当額が助成されます。応募申込先 国際センター事務室

氏名	学部	学科	学年
木下 剛 敏	工	電子情報工	4

ニューカッスル大学(英国)

氏名	学部	学科	学年
森 由 希	人文	ドイツ語	2

華東師範大学(中国)

氏名	学部	学科	学年
片 淵 俊 助	人文	東アジア地域言語	2

輔仁大学(中国(台湾))

氏名	学部	学科	学年
小 鶴 沙 智 子	人文	東アジア地域言語	3

グリフィス大学(豪州)

氏名	学部	学科	学年
藤 本 佑 喜 子	法	経営法	4

海外の5大学へ5人を派遣
平成14年度 福岡大学交換留学生

本学の協定校である、リーズ大学およびニューカッスル大学(英国)、グリフィス大学(豪州)、華東師範大学(中国)および輔仁大学(中国(台湾))への平成十四年度交換留学生(派遣)が別表のとおり決定しました。

留学期間は、本年八月から一年間(ただし、グリフィス大学は二月から一年間)で、留学先の本学で履修した授業科目は本学の授業科目として単位認定されます。また、留学(豪州)、華東師範大学(中国)および輔仁大学(中国(台湾))への平成十四年度交換留学生(派遣)が別表のとおり決定しました。

今回の募集には、学生九人が応募。選考は、語学能力、学業成績および面接の総合判定で行われました。



七隈キャンパスで合同企業説明会を開催
(3月4日・5日 第一記念会堂にて)

新入生諸君へ

大学生活をどのように過ごしますか?

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。すでに皆さんの大学生活はスタートし、授業も始まっていることでしょう。さて今回は、就職・進路支援センター委員の立場から、特に卒業後の就職についてを念頭に置いて、皆さんの大学生活へのアドバイスを考えてみました。皆さんがどのような大学生活を過ごすかで、卒業後の就職、さらにはその後の人生が大きく変わっていくのです。

一つは、目標を持って大学生活を過ごしてほしいと思います。私の所属するスポーツ科学部の学生には、「日本一になる」とも、「公式試合に出場する」とも、何か目標を持って努力するように指導しています。そして、その目標を達成するための努力を続けることで、卒業時に「自分はこれだけは誰にも負けないくらい頑張った」という充実感が得られるのです。プロではありませんから、目標に向けて頑張る過程が大切なことで、たとえ努力の結果が望み

求人状況
求人数は、前年同期比九・七%増の四千八百四十一社であった。業種別では、金融・保険業で八・三%減少したが、それ以外はすべての業種で増加を見た。地域別

長引く景気低迷で、国内の雇用情勢は相変わらず厳しさが続く中、航空会社の総合職採用の復活など、一方では明るい兆しも見えはじめ求人数も昨年を大幅に上回り、学生にとって好材料の多いスタートとなった。

本学の平成13年度就職状況をみると、昨年より二・七%上昇したが、以前と比べて厳しい就職状況に変わりはない。

平成13年度

就職状況

文系学部就職状況

年度	就職率		
	全体	男子	女子
11年	73.7%	74.5%	72.5%
12年	75.8%	76.7%	74.7%
13年	78.1%	78.4%	77.7%

理系学部就職状況

年度	就職率		
	全体	男子	女子
11年	84.3%	83.7%	86.2%
12年	90.4%	91.1%	88.1%
13年	93.5%	93.0%	95.0%

全学部就職状況

年度	就職率		
	全体	男子	女子
11年	76.8%	77.7%	75.1%
12年	79.9%	81.8%	76.9%
13年	82.6%	83.7%	81.0%

主な国家公務員合格状況

試験の種類	平成13年	平成12年
国家公務員 種	55人	53人
国税専門官	3人	2人
裁判所事務官 種	5人	6人

教員就職状況

種別	平成13年	平成12年
公立学校	19人	18人
私立学校	13人	9人

では、全地域において増加し、その中で特に増加が目立ったのは、福岡を中心九州管内の求人が二八・九%増であった。資本金別では、資本金五億円以上十億円未満が六・七%減で、それ以外は全て二〇%前後のアップが見られた。従業員別では、全てにおいて上昇が見られ、中でも特に

増加を見た。地域別では全地域において増加し、中でも特に増加が目立ったのは九州管内の一六・五%増、関東地区の二八・八%増であった。資本金別では、資本金一千万円以上十億円未満が約三〇%の減少を見たが、それ以外の規模の企業においては大幅な増加を見た。従業員別では、従業員百人以上五百人未満の企業が五・九%減少したが、それ以外は全ての増加を見た。公務員、教員は、厳しい状況の中でよく健闘したといえる。

決定状況は、全体で前年同期比二・七%アップの八二・一%であった。業種別では不動産業で三四・一%減少し、それ以外は全ての業種

日本経済は数十年ぶりの不況を経験しています。経済成長率はマイナスが続く、インフレ率はプラスが続く、企業倒産が増え続けている。失業者も最悪の状況にあります。日本経済の将来は不安で、自分の就職活動に不安を抱いている四年次生も多くなっています。これから一年間、就職・進路支援センターを大いに活用して良い結果を出してください。近年就職・進路支援センターは充実振りが目覚ましく、スタッフ

4年次生諸君へ 学生生活をしっかりと

人間関係を大事にして、心算の教えですが、皆さんもこの福大キャンパスでさまざまな出会いを大切にしてください。その出会いは皆さんの大きな財産となるはずで、是非多くの先生や友人と接し、

返ってきます。新入生の皆さんの、何でもできる学生時代にいろいろな事にやる気を持って取り組んでみましょう。高野裕光 スポーツ科学部助教授(就職・進路支援センター委員)

先輩からの一言

自然に生きよう

(株)西日本銀行 小川 賢二郎
(平成13年経済学部経済学科卒)



新入生の皆様、そして就職活動中の皆様、お元気でしょうか。さて、今回こうして一卒業生として皆様へのメッセージを依頼されるにあたり様々なことを考えましたが、題名にもあるとおり、自然に自分らしくあることの大切さについて述べさせていただきます。思いは、理由は単純です。自分らしくないことには無理が生じます。きっとそこには正しい判断、方向性を見出すことはできないでしょうし、納得がいかないでしょう。だから、自分らしく「生きてください」。しかし、忘れてはいけないのは全てが許されるわけではないということ。その場の状況、背景を読み取り、自分で自分らしさをいかに引き出すか、これは就職活動だけでなく、多くの場合で必要なスキルだと思えます。きっとそれがその人のセンスだと思えます。

だからひとりでだけ提案させていただきます。自分ができる道は自分なりの方法でみつけることです。自分を解き放つ環境を他人ではなく自分で創造することが大切だと感じます。

これだけは言っている何かがあると思えるなら、そこには他を惹きつける力が宿りま。時代がどのような変遷を経るにせよ、普通の法則というものは必ず存在します。そしてそれが自然に体現できる人が充実した生活を送るのではないのでしょうか。

きっと抽象的な提言に映るかもしれませんが、それは私自身がこれを読んだ方が「解答」ではなく、ある卒業生の「ひとつの方向性」として何かのエッセンスを汲み取っていただきたいと思つたからに他なりません。

それでは皆様、充実した楽しい大学生活を送ってください!!

実際には、企業の側も決定的な採用基準を持っていないので、一次の筆記や適性検査をなんとか通過して、面接で、明るい性格とか、やる気とか、積極的とかをアピールして上手に就職できる場合もあります。しかし、これだけではいけません。就職と大学生活は連続しているはずで、企業も、ただ生まれつきだけの素質のようなものだけで会社にきて欲しいのでしょうか。そうではないはずです。大学生活を真面目に送り、勉強し、様々なことを考えた学生を必要としているのではないのでしょうか。是非、密度の濃い大学生を送り、そのことを自信をもってアピールできるように頑張ってほしい。前に就職した方が、面接重視と面接での評価の仕方は従来と変わりはなく、学生の就職対策にはかなりパワフルがあります。単に有名な企業に行きたいとか、カッコいい職種に就きたいとかのレベルで止まると、後はセミナーを受けていけばなんとかなる、と思つている学生もいます。

私が福岡大学を卒業したのが昭和五十五年ですから、早いもので二十二年が過ぎました。

今回は私が新入社員教育でフレッシュマンの方々に話している事について紹介したいと思います。「学生から社会人へ」というテーマは各企業の新入社員教育で取り上げられる項目だと思つていますが、当社の場合、以下の講義で締め括っております。

一、社会人になったら五つの袋を大切にしよう」というものです。五つの袋とは、一、知恵袋、社会人になれば知恵を使った仕事をしたいという思いです。二、指示待ち、受身の姿勢では成長しません。提案型の姿勢と先を跳んだ行動力が必要で

二、堪忍袋、よく堪忍袋の緒が切れると思いますが、感情に任せて行動する事は社会人として失格です。腹の立つこともじっと受け止め、冷静に対処すれば活路は開けるでしょう。

三、給料袋、毎月の給料は一月頑張った証です。大切に使うべきです。社会人になれば収入を見据えた将来設計を立てることも必要になります。

四、胃袋、良い仕事を続けたいためには、やはり健康が第一。学生時代の暴飲暴食を社会人になっても続けては失格です。ストレスはまず胃にくるとも言われています。心身共に健康で迎える方もいるかと存じます。目まぐるしい社会情勢の変化、また、雇用環境の不安定な社会へ飛び込んで行くには不安も多からうと思つています。厳しい就職戦線の中、社会人になる心構えとして少しだけ五つの袋を考えてみたいかがで

人事担当者からのアドバイス

社会人になったら五つの袋を大切にしよう

(株)スガテック 総務人事グループリーダー
山本 修 (昭和55年商学部貿易学科卒)

以上が五つの袋ですが、この言葉は私が入社した時に、当時の先輩が話されたもので、当時はあまり実感はなかったのですが、社会人となって年数も経ち、年令も四十歳を過ぎ、この言葉の重みを感じているところであり、新入社員にお話ししている次第です。

さて、福岡大学の後輩諸君もこれから就職活動の本番を迎える方もいるかと存じます。目まぐるしい社会情勢の変化、また、雇用環境の不安定な社会へ飛び込んで行くには不安も多からうと思つています。厳しい就職戦線の中、社会人になる心構えとして少しだけ五つの袋を考えてみたいかがで

外科第一は、一般消化器外科および乳管内分泌外科を専門とする診療部門で、具体的には肝胆膵疾患、消化管疾患、乳管内分泌疾患を主な診療対象疾患としております。
外来日は月・水・金、手術日は火・木・金で、年間約四

診療科めぐり
外科第一

福岡大学病院外科第一部長
池田 靖洋



〇〇例の手術を行っています。肝胆膵疾患では膵炎、膵石症、膵腫瘍、胆嚢炎、胆管炎、胆嚢がん、胆管がん、胆嚢がんなど、胆嚢を摘出することなく、患者さんの病状を主に扱っており、膵臓疾患は当科の得意疾患の一つで、全有数の豊富な症例を誇ります。逆行性膵胆管造影(ERCP)検査は年間約五〇〇例も行われ、その検査件数、検査内容ともに全国トップレベルにあります。この領域は内視鏡治療や腹腔鏡治療も盛んで、手術療法に加え多彩な集学的治療で効率の良い、そして患者さんに優しい治療がすすめられています。また膵内分分泌細胞(ラ氏島)の研究も盛んに行われ、膵移植領域では全国的評価を受け、将来の糖尿病治療への福音となるべき研究治療が進みつつあります。



福岡大学病院

その大半を占めます。乳癌手術も以前と異なり、精度の高い術前診断に基づいたオーダーメイドの手術が中心となり、可能な限り乳房を温存することができ、術後の肉体的精神的ストレスは大変小さくなりました。また疾患領域別の枠を越え、鏡下手術も数多く行われています。胆石症に対する腹腔鏡下胆嚢摘出術は言うに及ばず、今は食道アカラシア、胃十二指腸潰瘍、脾臓、副腎腫瘍などの良性疾患や一部の早期胃癌、大腸癌にも同手術が応用されるようになりました。小さな手術は、術後の痛みが軽く早期の社会復帰も可能です。患者さんには大変喜ばれています。消化器外科、乳管内分泌外科を専門とする外科第一部門は、地域の皆様のお役に立てる、患者様に優しい医療を実践しております。
「医学部教授外科第一」

副島 保(そゑじま) とも
つ)福岡大学名誉教授(元経済学部教授)が平成十三年十二月十四日逝去されました。八十五歳でした。副島名誉教授は神戸商業大学卒業。昭和四十二年福岡大学教授に就任。同六十三年三月末に定年退職。昭和六十一年四月から平成元年三月まで特任教育職員。平成元年五月福岡大学名誉教授。専門は「投資経済論、証券経済論」。

副島名誉教授の「冥福を心からお祈りします」

大学入試センター試験利用入試状況

学部	学科	志願者数	合格者数
商	商	267	67
	商	242	67
薬	製薬	210	63
	製薬	252	39
	製薬	139	23
合	計	1,110	259

平成14年度 大学院入学試験結果
557人が志願、351人が合格

平成十四年度大学院入学試験は、昨年七月七日・十四日に実施された推薦入学(理学・工学・薬学研究科博士課程前期)で五十五人が合格志願者五十七人、九月十二日から十七日にかけての秋季入学試験(八研究科二十二専攻の修士課程・博士課程前期)で百六十八人(志願者二百二十一人)が合格。本年二月十七日から二十二日にかけての春季入学試験(九研究科三十一専攻の修士課程・博士課程前期)で百八十八人(志願者二百八十八人)が合格した。

平成14年度 大学院入学試験状況

研究科	専攻	修士課程前期								修士課程後期			
		入学		推薦		秋		春		合	合	合	合
		定員	志願	合格	志願	合格	志願	合格	志願				
人文学	史学	8	1	1	13	12	14	13	4	4	4	4	
	言語学	6	3	2	3	3	6	5	4	5	2	2	
	英語学	6	3	2	2	5	4	3	2	2	2	2	
	独語学	6	1	1	1	0	2	1	2	0	0	0	
	仏語学	6	2	2	0	0	2	2	2	1	0	0	
	社会・文化論	4	1	1	1	1	2	2					
法学	民法	10	13	1	16	8	29	9	10	0	0	0	
	刑法	10	10	5	8	3	18	8	10	1	1	1	
経済学	経済学	10	13	12	8	5	21	17	10	2	2	2	
	商学	10	20	6	17	8	37	14	10	1	1	1	
理学	応用数学	8	1	1	0	0	3	4	4	0	0	0	
	応用物理学	15	5	4	11	7	8	8	24	10	0	0	
	化学	18	11	11	3	4	3	18	17	10	2	1	
	地球圏科学	10	7	7	5	1	6	4	18	12	5	1	
	機械工学	10	1	1	11	8	3	2	15	11			
	電気工学	10	7	7	5	3	5	2	17	12			
工学	電子工学	10	6	6	15	10	8	6	29	22			
	化学工学	10	5	5	3	2	0	0	8	7			
	建設工学	10	1	1	8	7	9	9	18	17			
	情報工学									4	2	2	
医学	人間生物系								10	0	0	0	
	感染生物系								6	1	1	1	
	病態機能系								10	8	8	8	
	病態化学系								12	3	3	3	
薬学	薬学	28	13	12	24	21	6	6	43	39	10	4	
	体育学	12			10	9	13	12	23	21			
合	計	242	57	55	220	116	226	131	503	302	168	54	

合格者には外国人留学生18人、社会人27人を含む。

日本の大学生は、勉強嫌いか

法学部助教授 牛嶋 仁

今年二月まで長期在外研究(米・ウィスコンシン大学)の機会に恵まれた。このような機会を与えていただいた福岡大学の学生、教職員、関係者の方々に深謝申し上げる。研究目的は、現代的な社会問題を解決する(人の行動を変える)ためにどのような法制度が必要かということにつき、比較研究を通じて、各国にとって参考となる良いアイデアを得ることである。



モノナ・テラス(フランク・ロイド・ライト設計)から見た州政府議事堂

日米の大学制度で異なる点としては多いが、それは、学生の勉学意欲に影響を与えているのである。日本人は、米大学生の勉学熱心に驚嘆する。その体験から、日本の大学生は、生まれつき、米大学生と比較して怠惰であることが多く、結論づけることができず、筆者は、全くそうは思わない。大学生を取り巻く社会の諸制度がそうさせているのだらうと予想している。

その大半を占めます。乳癌手術も以前と異なり、精度の高い術前診断に基づいたオーダーメイドの手術が中心となり、可能な限り乳房を温存することができ、術後の肉体的精神的ストレスは大変小さくなりました。また疾患領域別の枠を越え、鏡下手術も数多く行われています。胆石症に対する腹腔鏡下胆嚢摘出術は言うに及ばず、今は食道アカラシア、胃十二指腸潰瘍、脾臓、副腎腫瘍などの良性疾患や一部の早期胃癌、大腸癌にも同手術が応用されるようになりました。小さな手術は、術後の痛みが軽く早期の社会復帰も可能です。患者さんには大変喜ばれています。消化器外科、乳管内分泌外科を専門とする外科第一部門は、地域の皆様のお役に立てる、患者様に優しい医療を実践しております。

平成14年度 入学試験結果
志願者は昨年に引き続き増加
大学入試センター試験利用入試を実施

学部入学試験状況

前期日程

学部	学科	志願者数	合格者数
人文	文	849	224
	史	676	169
	日	517	172
	英	1,048	267
	独	218	73
法	法	3,486	1,233
	法	1,223	444
	法	4,842	1,387
経済	経	1,481	426
	産	2,713	589
	業	1,608	487
商	商	1,578	395
	商	307	194
	商	468	179
理工	応	408	193
	用	528	185
	物	602	190
	理	948	332
	学	1,541	488
	電	790	329
	子	642	242
医	電	1,028	296
	子	1,539	133
薬	薬	1,678	253
	製	704	91
スポーツ	製	730	176
	化	404	84
合	計	34,508	9,874

平成十四年度の推薦・一般入試・大学入試センター試験利用入試、編入試験等を含めた志願者総数は四万五千五百一十一人で、前年比六・四%の増加(二千四百八十二人増)であった。

学部留学生入学試験状況

学部	学科	志願者数	合格者数
人文	文	3	1
	史	1	0
	日	8	5
	英	6	1
	独	2	0
法	法	2	0
	法	2	0
	法	1	0
経済	経	11	4
	産	40	14
	業	5	3
商	商	17	6
	商	38	14
	商	46	17
理工	理	1	0
	理	1	0
	理	1	0
医	医	2	1
	医	2	1
	医	196	69

平成十四年度の推薦・一般入試・大学入試センター試験利用入試、編入試験等を含めた志願者総数は四万五千五百一十一人で、前年比六・四%の増加(二千四百八十二人増)であった。

後期日程

学部	学科	志願者数	合格者数
法	法	361	35
	法	172	14
	法	393	50
経済	経	200	31
	産	145	20
	業	234	20
商	商	157	33
	商	153	72
	商	1,815	275

大学の動き

大学院工学研究科資源循環・環境工学専攻修士課程および人文科学研究科教育・臨床心理専攻博士後期課程(夜間)を開設
大学基準協会から相互評価認定を受ける
エクステンションセンターが天神でサテライト講座を開講
海外との協定校を拡大(9カ国・19大学)
大学評価アンケート(授業編)を実施
就職・進路支援センターサポートフロアが新装オープン
第2回緑化推進キャンペーンを実施

ヒューマン ディベロップメント(HD)センター利用案内

学生生活で生じる悩みや不安は、気軽にご相談ください

本学では、従来の学生相談室を発展させた「ヒューマン ディベロップメント センター(総合相談室)」を次のとおり開設していますので、ご利用ください。
当センターは、キャンパスライフで生じるさまざまな悩みや不安を抱く学生諸君とじっくりつきあい、バランスのとれた心の成長を側面から支援するもので、自ら成長しようとする人を手助けすることを目的としています。
学生からの直接相談のほか、ご父母の皆さんからの相談にも応じられるようカウンセラーのほか職員を常時待機させています。プライバシーの保護には細心の注意を払いますのでご安心ください。

Table with columns: 時間, 担当, 月, 火, 水, 木, 金. Includes consultation content and location information.

ゼミ研修・合宿・旅行に「やまなみ荘」

「やまなみ荘」は、福岡大学が直営するホテル形式の宿泊施設です。学生、保護者の皆さん、卒業生、一般の方も宿泊できますので、ご利用ください。
福大生の特典は、一泊夕食付きで二千五百円前利用できることです。事前に学生課で手続きをしてください。年間延べ二千四百人の福大生が利用しています。もちろん保護者の方や卒業生の方々に割引があります。
予約をする時にご確認ください。い。なお、宿泊の予約は直接「やまなみ荘」へご連絡ください。場所は、阿蘇くじゅう国立公園内、やまなみハイウェイ沿い、飯田高原「長者原」にあり、四季それぞれの美しい景観をお楽しみください。
建物は鉄筋3階建てで一般客百二十人、団体(学生)二百人を取容でき、一般室二十六室、特別室四室、大広間(百二十畳)、中広間(三十六畳)、会議室(二百席)、大浴場、



家族湯(露天風呂)、レストラン、洗濯室、温水プール、ゲームコーナーを備えています。付帯施設として、テニスコート、キャンプ場、大型バンガロー、野外研修場等も完備しています。
申込先「やまなみ荘」
TEL09737(9)2134
大分県玖珠郡九重町田野230
E-mail yama73@crux.ocn.ne.jp



やまなみ荘



セミナーハウス

市内での宿泊、研修に—— セミナーハウス

福岡大学セミナーハウスは、福岡市中央区六本松三丁目緑に囲まれた閑静なところにあり、教授と学生の小グループが起居を共にし、演習、研究会などを行うほか、学会やシンポジウム、国際交流活動、公開講座開催など多目的に利用されています。
宿泊室の収容人員は四十六人。職員や学生、生徒なら一人一泊シングル(バス・トイレ付)で三千円、トリプルで二千円。卒業生や後援者の方には、この料金よりもそれぞれ四千円増し。また、セミナー室は四室あり、収容人員は百人、三十人、二十四人(二室)で各セミナー室および二階ロビーに情報コンセントも設置しています。
職員や学生、生徒の利用は無料、卒業生や後援者の方には有料となっています。
申込先 事業課
TEL 092(871)6631

セクシュアル・ハラスメント相談窓口

皆さんが、健全で快適な学園生活が送れるように、福岡大学はセクハラ防止に向けて積極的に取り組んでいます。被害を受けたと思ったら、下表に掲げる相談員にご連絡ください。電話、電子メールで相談されても結構ですし、友人や知人を介しても構いません。また、ヒューマン ディベロップメント センターを通じて相談することもできます。

セクシュアル・ハラスメント相談員

*所属を問わず、いずれの相談員にも相談できます。

Table with columns: 相談員, 連絡先(内線), E-mailアドレス. Lists staff members like Tamura, Hayashi, Kiyokoue, Kiyokoue, and Yoshida.

福岡大学

〒814-0180 福岡市城南区七隈八丁目19番1号 (092)871-6631(代)

医学部・福岡大学病院・附属看護専門学校

〒814-0180 福岡市城南区七隈七丁目45番1号 (092)801-1011(代)

附属大濠高等学校・中学校

〒810-0044 福岡市中央区六本松一丁目12番1号 (092)771-0731(代)

福岡大学臨床心理センターのご案内

臨床心理センターは、乳幼児から高齢者の方まで、どなたでもご利用いただけるカウンセリング機能です。

ご相談は予約制です。お電話にてご予約ください。ご相談は秘密は厳重に守られています。ご本人が相談に来られない場合もお気軽にお問い合わせください。

Table with columns: 受付電話番号, 予約受付時間, 面接時間, 相談料金, 場所. Provides contact and service details.

- ご相談の例
●家庭や職場での対人関係で困っている
●つらい体験をしたので話を聞いてほしい
●自分自身についてもっと知りたい
●進学や就職、将来のことで迷っている
●不安や気分の落ち込みが強い
●子供が学校に行かない
●子育てで悩んでいる
●ストレスがたまる
(その他の問題についてもご相談ください)

福岡大学 臨床心理センター

臨床心理センター長 安部 恒久
ホームページ www.wcp.hum.fukuoka-u.ac.jp/psc/

学生の憩いの場 オアシス

ここは学生の憩いの場、友人とのコミュニケーションの場で、200人がくつろげるテーブルと椅子のほか、売店コーナー「オアシス・ショップ」があり、メッセージボード、飲料水自動販売機、アイスクリーム自動販売機、公衆電話機、ノートPCを学内LANへ接続するDHCP情報コンセントも設置されています。

また、ここは全面禁煙になっています。(8号館1階)

Table with columns: 開館時間, [開講期間中], [長期休暇中], 平日, 土曜日. Lists opening hours.

オアシス・ショップ

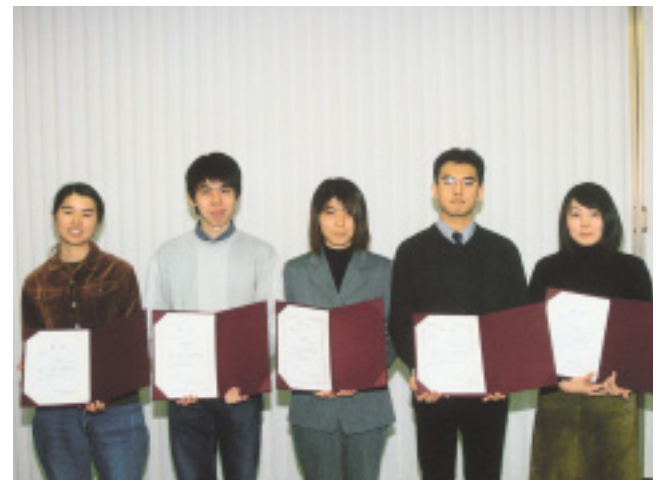
Table with columns: 営業時間, 平日, 土曜日. Lists shop hours.

販売品目
弁当、すし類、おにぎり、惣菜類、調理パン(サンドイッチ、ハンバーガー、ホットドック)、菓子パン、飲料水(牛乳、ジュース、ウーロン茶等)、冷凍食品、保温調理食品、デザート(プリン、ゼリー、ヨーグルト等)、アイスクリーム、菓子類



第12回 懸賞論文募集事業

入選の5人を表彰
栄さんが初の「優秀賞」を受賞



表彰を受けた5人の学生

第十二回懸賞論文募集事業の入選者表彰式が、昨年十二月十七日に学生部A会議室で行われ、初の優秀賞に輝いた薬学部一年生の栄さんに賞金十万円および表彰状、佳作に入選の学生四人に宮本学生部長から賞金五万円が贈呈された。テーマ「現代を考える」

現代科学のめざましい発展の中で生まれた一つの技術がこれまでにない難題を人類に突きつけている。その技術とはクロロニングの技術である。この技術の誕生によって遺伝子工学が現実味を帯びたものになってきている。遺伝子工学とは特定の遺伝子の組み換えや付加によって特異的な性質が子供に現れるようにすることである。つまり、この二つの技術が結合すると人間は自らの運命をもコントロールすることができるようになる可能性がある。



「優秀賞」作品要旨紹介

製造される生命

薬学部薬学科 栄由希子

このような現状に対してWHOが人のクローン再生は認められないという公式声明を発表したのははじめて、各国で様々な声明が発表されている。このように社会的にはこの技術は受け入れられていない。しかしこの技術には広い範囲に及ぶ生物医学的な問題解決の可能性もあるなどの良い面もある。一方、遺伝子が売買の対象になる可能性があるなどの悪い面もある。

課外活動優秀者を表彰

陸上競技・スピードスケート・レスリング・相撲



表彰される陸上競技部の選手たち



左から古屋選手、森山選手、花城選手

課外活動で優秀な成績を収めた本学学生・団体の表彰式が、二月二十五日および二十八日に学生部会議室で行われ、四人と一団体を表彰した。学生部長は表彰式で、福岡大学の名前を日本全国に知らしめた選手たちの活躍をたたえた表彰者（大会成績）は次のとおり。

福岡県教育文化表彰

新体操競技部男子が受賞
福岡県体育協会からも受賞

二〇〇一年度福岡県教育文化表彰の受賞者（個人四十九人と二十八団体）が福岡県教育委員会から発表され、その表彰式が二月十四日、市内東区の福岡リサーチセンターで行われた。本学からは体育スポーツ分野（団体）で、新体操競技部男子が全日本学生新体操選手権大会において二年連続優勝し、県の水泳スポーツ振興に寄与した功



績により受賞した。また、福岡県体育協会からも同部は三月九日表彰された。

スポーツの振興に貢献

生陸上競技対校選手権大会女子四百リレー2位 瀬戸口清・今村真子・小金丸裕子・谷口友季子の四選手、瀬戸口清選手（日本学生陸上競技対校選手権大会女子百メートルスピードスケート部）古屋由布子選手（全日本学生ショートトラックスピードスケート部）

ト個人選手権大会女子総合2位）レスリング部 森山振一郎選手（全日本大学レスリング選手権大会男子フリースタイル54kg級2位）相撲 花城俊樹選手（全国学生相撲個人体重別選手権大会65kg未満級2位）

福岡県体育協会表彰

ヨット部、陸上競技部、サッカー部の選手等が受賞

二〇〇一年度福岡県体育協会表彰式は、三月九日福岡リサーチセンターで行われた。本学からはスポーツにおいて抜群の成績をあげたヨット部の上田真聖選手、中村匠選手

福岡大学リサイクルマーケットを開催

卒業生から新入生へ

福岡大学リサイクルマーケットは八年目を迎え、本年も学友会総務委員会・寮友会が中心となって、四月三日から五日まで愛好会会館一階で開催された。毎年年末から卒業予定者や在学生に呼びかけて、集まった中古のまだ充分使用可能な品物を、新入生や留学生在、在学生などの後輩たちに譲るこの企画は、父母たちにも非常に好評で、今年も家具、電化製品、自転車、衣類、日用品、書籍（教科書）など約五〇〇点が集まり、九割の品物がその場で引き取られる盛況ぶりであった。年々先輩たちのマナーも向上し、冷蔵庫もきれいに掃除して出す人や、取り扱い上の注意を残していく人が増えているという。大学、学生、周辺住民・区役所が連携して行う地域に根ざしたこの活動は市からも注目されている。福岡市は、平成十四年度からごみ減量のモデルとして、この福大方式を市内で多くの地区にも普及する計画と聞く。



福岡大学リサイクルマーケット卒業する学生たちが不用品の提供申込みを福岡大学学生課に連絡
同学生課が城南区役所生活環境課に回収を依頼
同区役所が業者に委託し不用品を指定日に回収
品物は大学クラブハウスに保管
学生の総務委員会とさわやかな会（市民ボランティア）がクリーニング無料で新入生などに提供

福岡市体育協会表彰
レスリング部の
世良選手が受賞

平成十三年度福岡市体育協会表彰式は二月二十三日、市内中央区のタカラホール福岡で行われた。本学からはレスリング部の世良桃子選手（二〇〇一年世界ジュニア選手権大会43kg級優勝）が受賞した。

（第8回全日本学生ヨット個人選手権大会スナイプ級優勝）陸上競技部の瀬戸口清選手（第70回日本学生陸上競技対校選手権大会女子百メートル優勝）、サッカー部の乾監督と坪井慶介選手、太田恵介選手、杉山哲選手（第21回ユニバーシアード大会サッカー優勝）が受賞した。

福岡市
市民スポーツ賞を
サッカー部が受賞

二〇〇一年度、福岡市市民スポーツ賞の表彰式が三月二十七日、福岡市役所で行

れた。昨年八月、中国・北京で開催のユニバーシアードに出場し、日本チーム優勝に貢献した本学サッカー部（乾監督・日本代表コーチと三選手FW太田恵介・今春卒業・アビスパ福岡入団、DF坪井慶介選手・今春卒業・浦和レッズ入団、GK杉山哲選手・スポーツ科2年）が同賞を受賞した。



冬季国体フィギュア
中庭選手が初優勝



第57回国民体育大会冬季大会スケート競技大会フィギュア成年男子シングルは、一月二十六・二十七日の両日、北海道・帯広の森スピードスケート場で開催され、中庭健介選手（スポーツ科2年、香椎高

全国高校選抜バスケット
準優勝
附属大濠高等学校が
全国高校選抜バスケットボール優勝大会最終日は昨年十二月二十八日に東京体育館で行われ、決勝を能代工と対戦した大濠高校は78・90で敗れ、惜しくも準優勝。